

### 市内生活道路への ポイ捨て等の防止対策は

広報などで啓発を行うとともに  
啓発用看板の配布を行っている



▲ポイ捨てされたごみ

再び、自治基本条例について

西宮 幸一議員(市フオ) ダストボックスの撤去により、市内生活道路において、ごみの散乱や犬のふんの放置が目立

つようになつたと聞くが、道路の散乱状況は。また、市民から、職員による道路清掃をより積極的に進めてほしいとの声があるが、市の考えは。ごみ改革推進本部長 状況としては、道路の植栽に隠すように、弁当の食べ残しや空き缶等が捨てられている。清掃については、市民と行政が連携・協働しながら、計画的に進めていきたい。

### HTLV-1の抗体検査 無料化の考えは

### 機会をとらえて 国や都に働きかけていく

隆 ミワ子議員(公明) HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)は、致死率

が高いATL(成人T細胞白血病)などの原因となる病原生ウイルスである。HTLV-1の感染経路は、母乳を介した母子感染が多く、妊婦検診時の抗体検査を無料化することが、母と子の命を守るためにも必要と考えるがどうか。

福祉保健部長 妊婦検診一般検査項目に抗体検査を早期に導入するよう、国、都に対し

機会をとらえて働きかけていく

議員 HTLV-1に関する知識、関心は非常に低い状況

にあり、更に内容が充実した母子感染予防啓発のチラシ等を作成してもらいたい、市の考えは。

福祉保健部長 先進的な取組を行う自治体の事例を参考にし、検討をしていきたい。

女性と子どもの健康・命を守るワクチン及びエビデンスの公費助成等について●学校の夏季暑さ対策について(その2)

### 障がい者差別禁止条例の制定 市の動向を注視し は

### 国の動向を注視し 障がい福祉の更なる充実に取り組む

稲津 憲護議員(市フオ) 障がい者に対する偏見等は、無意識に差別的な言動などに表れ、ノーマライゼーションを目指そうとする福祉の理念が中々浸透されていない。

障がい者に対する差別を無くし、人権が守られる社会を目指し、市として障がい者差別禁止条例を制定すべきと思うがどうか。

市長 人間の尊厳を尊重する社会の実現は重要な課題と認識しているが、同条例の制定については、差別の定義など

### 自転車駐車場 いつになったら市に譲渡されるのか

### 市が求める施設については 譲渡が承諾されることになった

杉村 康之議員(市フオ) 自転車駐車場整備センターが建設し運営する自転車駐車場は、協定では10年経ったら市に無償譲渡されることになっているが、3年前の答弁では、黒字

施設の譲渡により、同センターの運営を圧迫するためという。しかし、同センターは国土交通省の天下り団体であり、市は、天下り団体の経営よりも市民への還元を考えた方がいいと思うが、いつになったら

ら市に譲渡されるのか。環境安全部長 平成22年度に入り協議を行い、市が求める施設については、無償譲渡が承諾されることになった。議員 多磨霊園駅北の自転車駐車場が今年度協定を終了するが、譲渡を求める考えは。環境安全部長 今後、具体的な協議を進めていきたい。



▲多磨霊園駅北自転車駐車場

## 常任委員会からの審査報告(抜粋)

### 総務委員会

#### 第71号議案

平成21年度府中市競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算額は、歳入94億8207万4千円で執行率93・7%、歳出94億7398万4千円で、執行率93・5%となっている。

歳入の主なもの、入場料収入、勝舟投票券発売収入のほか、場外発売事業収入となっている。歳出は、競走開催費、場外発売事業費などで、競走事業運営調整基金の21年度末の残高は、30億900万円となっている。

質疑に対して「平和島競走事業における施設改修については、早朝の前売り外向発売所の新設などとなっている」等の答弁があった。

委員から「厳しい状況の中で知恵と様々な努力により、一般会計へ8億円の繰り出しを行ったことに敬意を表し、本案に賛成する」、「ポトピアの地方進出などギャンブルの拡大に異議を申し上げており、本決算についても認定できない」等の意見があった。

採決の結果、本案については、賛成多数により、認定すべきものと決定した。

### 文教委員会

#### 第60号議案

府中市市民会館条例の一部を改正する条例

この議案は、府中市市民会館において、市民の利便性を高めることを目的として実施する、指定管理者制度における、利用料金制度の導入に伴い、所要の改正を行うものです。

主な改正内容について「会館の利用に係る料金の納入先を指定管理者とするとともに、利用料金の納入を原則として前納とすること」を規定するものである」等の説明があった。

質疑に対して「利用料金の指定管理者の収入による市のメリットは、使用料の還付処理事務などがなくなり、事務の簡素化が図られること」等の答弁があった。

委員から「この改正によって、市民会館がより使いやすくなり、市民サービスが向上したと言われるよう努めていた、本審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 厚生経済委員会

#### 第67号議案

平成21年度府中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算額は、歳入204億9992万4千円で執行率91・9%、歳出204億9481万2千円で、執行率91・8%となっている。

歳入の主なものとして、国民健康保険(国保)は収入率66・9%で本決算における保険収入総額の歳入総額に占める割合は23・1%、前年度比1・5ポイントの増となっている。不納欠損は、生活困窮など合計1万3876期分となっている。歳出は、保険給付費の療養諸費で件数、費用とも微増となっている。

質疑に対して「国保加入者における年収300万円以下の世帯数については、ここ数年、増加の傾向にある」、「国保税の収納率については、税額が低い方ほど低くなる傾向にあるが、収入が多い方についても滞納は見られるので、今後とも、納税率を向上させる努力をしていきたいと考えている」等の答弁があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、認定すべきものと決定した。

### 建設環境委員会

#### 第61号議案

府中市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例の一部を改正する条例

この議案は、家庭ごみ排出者の利便性の向上を図るため、指定収集袋の種類を増やし、これに伴い、廃棄物処理手数料を新設するなど所要の改正を行うものです。

質疑に対して「今回の条例改正は、市民からの要望に基づき、より小さいサイズである5リットル及び10リットルの指定有料袋を作成することで、より一層のごみ減量を進めていただくことを目的とするもの」等の答弁があった。

委員から「今後も市民の要望をしっかりと反映していただくことを要望し、本案に賛成する」、「ごみ減量効果については、広報等で市民にしっかりと周知していただくことを要望し、本案に賛成する」等の意見があった。審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。